



代表質問通告書一覧（9月24日）


質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
 <p>(2 番) 井岡 正徳 (自由民主党)</p>	<p>1 紀伊半島大水害からの復旧・復興について</p> <p>(1) 避難者の早期解消に向けた取り組み状況を含め、紀伊半島大水害からの復旧・復興の現状と取り組みについて伺いたい。</p> <p>(2) 熊野川について、国、奈良・和歌山・三重の3県、ダム管理者が個々に河川やダムを管理している。国がイニシアティブをとって、3県やダム管理者の調整・連携を図り、上下流一貫した危機管理体制を早期に確立することが必要であり、このことが熊野川の安全・安心を確保し、南部地域の真の復旧・復興をめざすことにつながるものと思うが、県はどのように考えているのか。</p> <p>(3) 災害発生以来、緊急に河川の堆積土砂撤去工事が進められてきたが、一方で撤去予定の土砂量が大量であり、処分地の確保も課題である。熊野川をはじめとする県南部の河川の堆積土砂の撤去方針、撤去状況及び今後の見通しについて伺いたい。</p> <p>(4) 土石流やがけ崩れ等の土砂災害を防ぐための対策工事は、県民の命と財産を守るため積極的に進めるべきと考えるが、紀伊半島大水害においては、それらの効果があったのか。また、紀伊半島大水害を踏まえ、今後どのように対策工事を進めていくのか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(2 番) 井岡 正徳 (自由民主党)</p>	<p>2 世界観光機関アジア太平洋センター誘致について</p> <p>日本国内にある国連に関する機関のほとんどが大都市圏に集中している中、奈良県に国連機関の一つが設置されるのは非常に喜ばしいことであり、奈良の知名度向上につながると期待している。そこで、世界観光機関アジア太平洋センターを奈良県が誘致することにより、どのような効果が期待できるのか伺いたい。</p> <p>3 新県立奈良病院と医科大学の運営について</p> <p>(1) 県立医科大学の独立行政法人化の経験を踏まえて、県立2病院の独立行政法人化の検討に向けた、2病院の棲み分けやガバナンス、運営費交付金と新病院建設費の起債償還や出資形態など、どのようにするのか、基本的な考え方を伺いたい。</p> <p>(2) 県立医科大学が独立行政法人化されて5年間運営されたが、今後経営することにあたってのガバナンスや、運営費交付金と起債償還などを含めた財務内容の改善、教育・研究の目標、また、県内唯一の特定機能病院として、診察に関する目標をどうするのか、医科大学の次期中期目標を策定していくうえでの基本的な考え方を伺いたい。</p> <p>4 奈良公園における今後の取り組みについて</p> <p>本年9月に、奈良県の「地域活性化特区」の第1号として、「奈良公園観光地域活性化特区」を申請することであり、従来の「構造改革特区」とは異なり、規制緩和の特例措置に加え、税制、財政、金融上の支援措置等を総合的に実施するものとされており、非常に有意義なものになると期待している。今回申請する「奈良公園観光地域活性化特区」の内容と、具体的な取り組みについて伺いたい。</p> <p>また、奈良市との連携についてどのようにされているのか、あわせて伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(2 番) 井岡 正徳 (自由民主党)</p>	<p>5. 飲酒運転の根絶対策等について</p> <p>飲酒が関係する交通事故の現状と、飲酒運転根絶に向けてどのように取り組んでいるのか伺いたい。また、過労、脱法ドラッグ及び違法薬物の影響で正常な運転ができない状態で自動車を運転していたための事故防止についても、どのように取り組んでいるのか、あわせて伺いたい。</p>	<p>警察本部長</p>
 <p>(2 5 番) 萩田 義雄 (自由民主党 改革)</p>	<p>1 県財政について</p> <p>(1) 企業立地について、立地企業による法人関係税の税收効果があったのか。平成19年度から平成23年度までの税收額を伺いたい。また、雇用創出効果についても伺いたい。</p> <p>(2) シャープ株式会社の事業再構築について、県内には工場が3カ所あり、二次・三次の関連企業も多く、大きな影響があるのではと危惧している。県としてこれまでの状況を把握しているか。また、今後どのような対応を検討していくのか。</p> <p>2 紀伊半島大水害への対応について</p> <p>国道168号、169号の整備を国直轄事業として実施することが必要である。国直轄事業化に向けた取組状況を伺いたい。</p> <p>3 新県立奈良病院について</p> <p>(1) 医療機能や人材確保等について新病院建設の内容は県庁内部だけで検討されたと聞いているがどうか。また、高度医療拠点病院として重篤な患者、癌患者等の病気に対する研究課題はどう推し進めていくのか。さらに、付近住民の皆様方の声は県にはどう伝わっているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(25番) 荻田 義雄 (自由民主党 改革)</p>	<p>(2) 近鉄西ノ京駅から新病院までの交通アクセスについて、今日まで県として六条地区自治連合会にどのように説明してきたのか。また、付近の小・中・高等学校の通学路についての認識はどうか。</p> <p>(3) 最近の局地的な雨量は本県でも考えもつかない災害をもたらす。そこで六条地区付近の農業用水路を通じ雨水が大池に流入することによる浸水決壊の恐れはないのか。</p> <p>4 救急搬送について</p> <p>(1) 平成19年の事件以来、救急搬送の在り方について県として検討を重ねてこられ、搬送時間が少し短縮できたといわれるが、果して時間は短縮されているのか。</p> <p>(2) 救急車からの病院への交渉回数は、依然多いのが実態である。その原因は医師不足にあると思われるが、交渉回数を減少させるためには2次・3次合わせての対応を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>5 再生可能エネルギーへの取り組みについて</p> <p>(1) 県有地も含めた未利用地を活用し、県が主導してメガソーラー発電に取り組む必要があると思うが、具体的な検討はどこまで進んでいるのか。</p> <p>(2) 農山村地域における地域資源を活用した再生可能エネルギーへの取り組みを積極的に進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 本県の現在の家庭用太陽光発電設備設置補助制度を拡充すべきと考える。家庭用太陽光発電の普及促進策を県として今後どのように進めていくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(25番) 荻田 義雄 (自由民主党 改革)</p>	<p>6 観光振興について</p> <p>(1) 県営プール跡地及び奈良警察署用地へのホテル誘致については、現時点では誘致の見通しが立っていない状況であると言わざるを得ない。これまでの取組状況とホテル誘致実現に向けた知事の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 奈良公園観光地域活性化特区に向け、関係機関との協議はどのような状況か。また、埋蔵文化財を発掘している登大路駐車場の現在の状況はどうか。さらに、駐車場のターミナル整備にあたっては奈良らしさを全面に考え、観光客の心のもてなしができる最前線基地として、癒しの感じられる整備が良いと思うがどうか。</p> <p>(3) 正倉院事務所には宝物の模造品が造られており、正倉院事務所のご理解を頂き、今後の記念事業等で奈良へ訪れる観光客の皆様方にご覧いただけるよう県立美術館等に展示すれば、また、奈良にお越しになるきっかけになると思うがどうか。</p> <p>7 リニア中央新幹線の間駅誘致について</p> <p>知事が先頭に立ち、県が主導的立場で、中間駅の誘致を推進していただきたいと考える。リニア中央新幹線の間駅誘致についての現在の状況はどうか。また、今後どのように進めていくのか。</p> <p>8 農業の振興について</p> <p>米作りのブランド化について、日本各地の米産地の取組をどう思うか、また、県としてのこれまでの取組状況はどうか。さらに、ブランド品作りにかかわって農業総合センターにおける農作物の品種改良への取組状況はどうか。加えて、普及員や研究員が捉えているそれぞれの農家の経営についての課題や優良事例について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>農 林 部 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(7 番) 藤野 良次 (民主党)</p>	<p>1 社会保障と税の一体改革について</p> <p>地方消費税の増税によって生まれてくる財源は、世代間の公平性の確保のための社会保障政策の充実などに用途を限定するべきと考えるがどうか。</p> <p>2 首都機能バックアップ構造の構築について</p> <p>「首都機能バックアップ構造の構築」については、関西広域連合や関西経済連合会等の提言や意見書に深い理解を示すところであるが、リニア中央新幹線の奈良県への中間駅設置による交通輸送の将来に向けた充実や、自然災害が少ない県内北部の特性などを鑑みれば、首都機能バックアップにおける奈良県の果たす役割は大変大きなものがあると考えがどうか。</p> <p>3 環境保全に対する取り組みについて</p> <p>集中豪雨が頻発し、「紀伊半島大水害」に見舞われた奈良県として、温室効果ガスの削減や、再生可能エネルギーの普及など、地球温暖化防止に向けた県の取り組み及び目標の設定等は、各市町村にも影響を与えることになり、地球温暖化対策の推進に大きな役割を果たすと考えることから、条例の制定も含め、奈良県の環境保全に対する取り組みについて伺いたい。</p> <p>4 水源林の公有化支援について</p> <p>(1) 早急に公的な管理が必要な森林を、市町村が買い上げずる場合の助成制度等を設けることや「森林環境税」の用途については、公有化の財源としての追加見直しを図るなど、水源林を守るための公有化支援について、所見を伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(7 番) 藤野 良次 (民主党)</p>	<p>(2) 水源林の保全は、上流から下流にわたる問題でもあり、本県の河川はすべて近隣府県にまたがることから、広域的な取り組みの必要性について課題があると考えますがどうか。</p> <p>5 県内の産業・工業の活性化について</p> <p>県内に所在する産業・工業、特に中小・零細企業に向けた、新たな支援制度の創設や現在の優遇制度の充実、さらには、新たな産業の創出など、可能性を最大限に引き出す支援策などについて伺いたい。</p> <p>6 「特養」待機者の問題と地域福祉の推進について</p> <p>(1) 県として、通所介護施設での「宿泊」について実態調査も含め、今後どのように対応していくのか。また、現在における、特別養護老人ホームの待機者の実態と解消に向けた取り組みについても伺いたい。</p> <p>(2) 県として、地域の自主性を尊重しながら、地域包括ケアシステムの核となる「地域包括支援センター」の更なる支援が必要であると考えますがどうか。</p> <p>7 産業教育について</p> <p>老朽化が著しい設備機器の更新や、保守点検に係る費用の確保など、工業高校の現状も含め、奈良県の産業教育の考え方や今後の取り組みについて伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>教 育 長</p>

